

教科書に載っていない都道府県調べの指導法 ～地図帳指導書の徹底活用～

東京都落合第二中学校 寺町敏明

1 はじめに

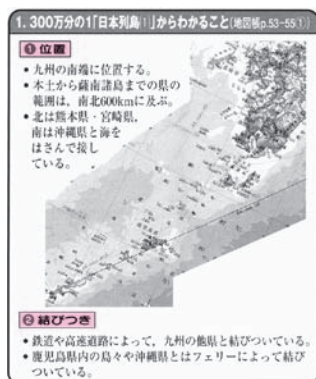
帝国書院版の地理教科書では福岡県、東京都、山形県が取り扱われ、この3都県を学習する場合はそれぞれかなり細かい記述が見られる。しかし、これ以外の44道府県を学習していく場合が、資料収集などの面で問題となる。

私は、この都道府県学習でもっとも頼りになる資料は地図帳であると考えている。地図帳には、300万分1日本全国、地方ごとの100万分の1地図、地域の資料図、全国規模の統計地図、巻末の統計などさまざまな資料が載っている。都道府県調べでは、それぞれの図や資料を大いに活用していきたいものである。この地図帳を徹底的に活用することにより、都道府県学習も大いに深まっていくものと考えている。

地図帳を活用し教科書に載っていない都道府県を調べる際に、1枚1枚の図版の見方や活用方を示した地図帳「指導書・活用編」はたいへんに頼りになる存在である。見開き2ページで一つの都道府県を取り扱い、都道府県の地域的特色を調べるのに適した地図を引用し、1図1図にさまざまな補足解説をしてある。今回は、この指導書の中からいくつかの図版を引用して、活用指導事例を示してみた。

2 「300万分の1・日本列島解説」の活用

●鹿児島県



<鹿児島県> (「指導書・活用編」p.158)

ア. しっかり押さえてたいポイント

- 九州の南端と多くの島々からなり、その範囲は北東から南西に長く延びている。

イ. 指導書を活用した指導事例

- 九州南部から与論島までの距離を測る。
- 県内の島々は九州本土や沖縄県とどのように結びついているのか考える。
- 時刻表などを活用して、島々を結ぶフェリーの運航について確認する。
- ビデオなどを活用して、島の人々の生活について関心をもつ。

ウ. 他の都道府県への応用

沖縄県・長崎県・愛媛県

3 「100万分の1・地方図解説」の活用

●富山県



<富山県> (「指導書・活用編」p.101)

①自然(地形)から読み取ろう

ア. しっかり押さえてたいポイント

- 富山湾に沿うような形で富山平野が広がり、水量が豊富な神通川や黒部川が流れる。

- ・県の東側、南側は飛騨山脈など高い山地に面している。

イ. 指導書を活用した指導事例

- ・富山県の周囲で、3,000m級の山を調べ、白地図に位置と名称、標高を記入する。
- ・富山平野に面した山地から富山湾に流れ込む大きな川を調べ、白地図に記入する。
- ・黒部川や神通川が勾配が急で、水量が豊富なのはどうしてか考える。
- ・富山平野のようすを地図帳から読み取り、白地図に記入していく。
- ・県の中で、高い山脈はどのような位置にあるか。
- ・富山県の人々の生活と、平野、川、山地、海などの自然や地形との関連について考え、気がついたことを発表し合う。

ウ. 他の都道府県への応用

岐阜県・長野県・山梨県・群馬県

②土地利用や産業・生活文化を読み取ろう

ア. しっかり押さえないポイント

- ・平野部の農地はほとんどが水田である。
- ・漆器、銅器など特色ある伝統産業が発達する。
- ・豊富な電力を活用した工業が発達している。

イ. 指導書を活用した指導事例

- ・大きな都市の分布を調べる。
- ・富山平野の農業などの土地利用について、地図帳から調べノートにまとめる。また、稲作以外にさかんな農業はなにか調べる。
- ・山間部に水力発電所が多くみられるのはどうしてか考える。さらに、水力発電所による豊富な電力はなにに利用されているか調査を行う。
- ・特色ある伝統産品をあげ、分担して調べる。

ウ. 他都道府県への応用

高知県・滋賀県・静岡県・青森県

●和歌山県

①交通・人口を読み取ろう

ア. しっかり押さえないポイント

- ・海岸線と紀ノ川流域に交通が発達している。
- ・和歌山市周辺の北部と海岸部に人口が集中。

イ. 指導書を活用した指導事例

- ・県庁所在地和歌山市の位置と人口を調べる。
- ・県の人口に占める和歌山市の割合を計算する。
- ・和歌山県のおもな都市の位置と人口とを白地図に記入するなどして、和歌山県の人口分布の特

色について調べて発表する。

- ・鉄道の路線を白地図に記入し、どのようなところを走っているか特徴をまとめる。

- ・国道などおもな道路を白地図に記入し、鉄道や道路など和歌山県の交通は地域によってどのような偏りがあるか考える。

ウ. 他の都道府県への応用

宮崎県・島根県・奈良県・岩手県

②歴史・観光を読み取ろう

ア. しっかり押さえないポイント

- ・南部の海岸線や温泉など豊かな自然に恵まれ観光地も多い。
- ・高野山、熊野三山など歴史的に価値の高い史跡があり、多くの観光客が訪れる。



和歌山県 (「指導書・活用編」p.129)

イ. 指導書を活用した指導事例

- ・歴史の教科書に出てくるような史跡を探し、金剛峯寺、阿武河莊跡、ノルマントン号事件などを分担して調べる
- ・飛び地に注目し、どうしてこのような形になっているのか話し合う。
- ・おもな温泉地を見つけ、名称と位置を白地図に記入する。白地図は①の指導事例で使用した鉄道とおもな道路が記入されたものを使用する。
- ・指導書を参考に高野山、潮岬、那智滝、瀨八丁^{なちのたき}を白地図に記入する。さらに旅行ガイドブック、旅行パンフレットなどを用意し、熊野本宮大社、那智大社、くじらの博物館などの和歌山県を代表する他の観光地も白地図に記入する。
- ・作成した地図をもとにして、グループごとに和

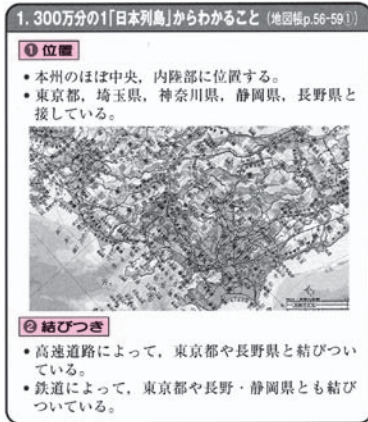
歌山県の観光ルートを作成する。

ウ. 他都道府県への応用

奈良県・京都府・神奈川県

4 「全国規模の統計地図」の活用

●山梨県



<山梨県> (「指導書・活用編」p.106)

ア. しっかり押さえないポイント

- 山梨県は全国的にみて、果実の生産量が多い県である。
- ぶどう、ももの生産量は全国一。

イ. 指導書を活用した指導事例

- 山梨県は、果実の生産額で全国で第何位か。
- ぶどう、もも、さくらんぼの生産量ベスト5の都道府県をノートに記入する。
- ぶどうやももの生産県で、なにか共通することがないかどうか地図帳を活用して調べる。
- 扇状地などぶどうやももの生産に適した自然的条件を確認する。
- 日本を代表する果実であるみかんとりんごの生産量ベスト5の都道府県をノートに記入する。
- みかんとりんご、それぞれの栽培に適した自然的条件を地図帳を見て考えてみる。
- 果実には、地形、土壌、気温、降水量など自然的条件に大きく左右されることを確認する。

ウ. 他都道府県への応用

青森県・山形県・福島県・長野県・静岡県・和歌山県・愛媛県・熊本県

5 「地域の資料図」の活用

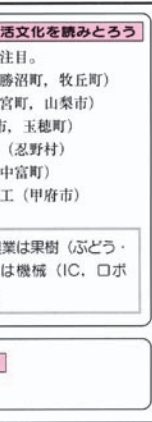
●宮城県

ア. しっかり押さえないポイント

- 仙台は東北地方一の大都市であり、仙台を中心に鉄道、道路など交通機関が発達している。
- 交通機関の発達により、工場の立地が増え沿線に工業団地ができていることを押さえる。

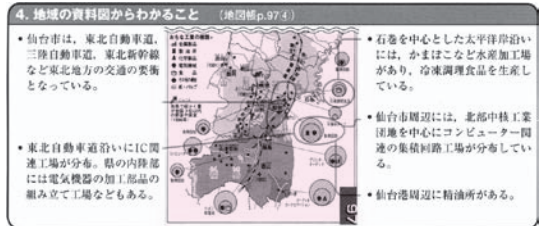
イ. 指導書を活用した展開例

- 地図帳を見て、仙台市周辺を通っている鉄道路線や高速道路を調べる。
- 白地図に新幹線や高速道路を記入する。
- 東北自動車道沿いにどのような工場が分布しているか調べ白地図に記入する。
- 太平洋岸、仙台市周辺にどのような工場が分布しているか調べ、白地図に記入する。
- IC関連工場を白地図



に記入して、どのようなところにできているか考える。

- 車での東京への移動時間を参考にしながら、交通機関の発達と工業の変化について自分の考えをまとめ発表する。



<宮城県> (「指導書・活用編」p.81)

ウ. 他都道府県への応用

熊本県・香川県・愛知県・福島県

6 終わりに

学習指導要領第2部の「地域の規模に応じた調査」の中でも「イ 都道府県の調査」は、まったく新しい単元であり、どのように授業を構成していったよいかというまどい声がよく聞かれる。

私はまず身近にある地図帳とその「指導書・活用編」を徹底的に利用して、地域的特色を的確に捉えていく都道府県学習を実践していきたいと考えている。